

2 (株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂との 「地域活性化包括連携協定」の締結について

先般、(株)イトーヨーカ堂から「花巻市との地域活性化包括連携協定」締結のご提案をいただき、(株)セブン-イレブン・ジャパンも含めた3者による「地域活性化包括連携協定」の締結に向けた協議を重ね、この度、花巻市、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂の3者が、緊密な相互連携と協働による活動を推進し、市民サービスの向上及び地域の活性化を図ることを目的にした「地域活性化包括連携協定」を12月3日(木)に締結いたします。

なお、(株)イトーヨーカ堂は本年3月以降、店舗所在地の市町村との「地域活性化包括連携協定」の締結を進めており、本市との締結は東北初(全国では7番目)となります。

<連携事項>

- (1) 地産地消、市の特産品の販路拡大、観光振興に関すること
- (2) 地域の安全・安心に関すること
- (3) 高齢者及び障がい者の支援に関すること
- (4) 子育て支援、男女共同参画推進に関すること
- (5) 子ども・青少年の育成に関すること
- (6) 健康づくりに関すること
- (7) 環境対策及びリサイクルに関すること
- (8) 文化・スポーツ振興、国際交流に関すること
- (9) 地域防災・災害対策に関すること
- (10) その他、地域社会の活性化・住民サービスの向上に関すること

【締結式】

日時 12月3日(木) 午前9時から午前10時

場所 花巻市役所 本庁舎2階 市長応接室

【(株)イトーヨーカ堂について】

(株)イトーヨーカ堂花巻店は、開店(1988年11月)以来27年間にわたり、生鮮食品の提供をはじめ、従業員の雇用や公共交通バスの拠点としての利用など、中心市街地において重要な施設として、多くの市民の生活を支える役割を担っている。

【(株)イトーヨーカ堂の取り組み】

(株)イトーヨーカ堂花巻店において、花巻産食材を活用した商品開発に取り組んで頂いている。11月14日(土)に行われた同店開店27周年記念セールオープニングイベントでは、花巻市長より花巻産品の消費拡大への貢献を期待する挨拶、花巻農業協同組合副組合長から新鮮な花巻産農産物の販路拡大を期待する挨拶があり、その後、店内視察を行った。

同記念セールにおいては、花巻地産地消フェアを開催、同店のり巻き部門で一番の売上げとなった(株)道奥の青南蛮みそっこ胡瓜を活用したのり巻き、さけの佐々長味噌漬、同店で初めて販売された(株)高源精麦の特製たれ漬け白金豚、花巻農業協同組合の協力による新鮮な地元農産物の販売が行われ、花巻産食材の消費拡大に大変貢献頂いた。お客様から、盛岡の老舗百貨店でしか買えなかった商品が購入出来た、ギフト商品としての販売希望等、好意的な声が多かったとお聞きしている。

また、セブン&アイ・ホールディングスは、11月1日から新設の通販サイト「オムニセブン」を本格的に開始、インターネット通販と実店舗を連動させるオムニチャンネル戦略を本格化させた。売

れ筋商品の一部や派生商品をセブンイレブンやイトーヨーカ堂でも扱う予定とのことから、今後、花巻農産物を含めた販路拡大が期待される。

なお、(株)イトーヨーカ堂は、地域のお客様への一層のサービス向上や地域活性化への貢献を目的として、出店地域の自治体との包括連携協定の締結を行っており、平成21年11月に岩手県、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂の3者で、地産地消の推進や県政情報の発信、災害時の支援など9分野において「地域活性化包括連携協定」を締結しているほか、災害時における物資供給に関して、平成20年7月に本市と協定を締結している。

<担当 商工観光部 商工労政課 24-2111 内線389>